



# 御田小 研究だより

平成30年1月17日  
港区立御田小学校  
校長 三浦 和志

## 第5回研究授業報告

12月11日(月) 1年3組 授業者 西岡悦子  
12月13日(水) 1年1組 授業者 義積悦子  
12月14日(木) 1年2組 授業者 末永 稜

### <算数> 単元名「ずをつかって かんがえよう」

#### <単元でねらっていること>

○順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面についても加減計算が適用できることを理解し、それを用いることができるようにする。

#### <本時のねらい>

○場面を図に表して問題の構造をとらえ、問題解決の能力を高める。

### 【ユニバーサルデザイン化の視点から】



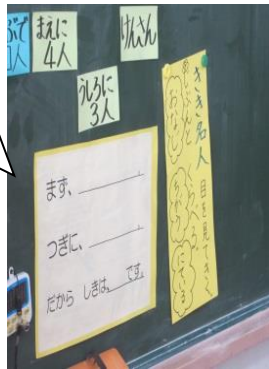
黒板の「挿絵」や「キーワード」、発表シートの裏に「話型」を示したことで、自分の考えを整理することができました。(焦点化)



3~4人のグループで自分の考えを発表し合いました。友達の考えと自分の考えを比べながら聞くことができました。(共有化)

友達の考えを聞く際に「きき名人」の視点があったことで、発表者の考えと自分の考えとを比べながら聞くことができました。

(焦点化・視覚化)



発表シートを拡大投影機で大きく映したことで、友達の考えや式の根拠の説明が分かりやすくなりました。

(視覚化・共有化)



発表シートに図を描くことで、 $4+3$ の式にならないことに気付くことができました。

(視覚化)

#### <授業を終えて>

場面を図に表して問題の意味をとらえ、立式する学習をしました。キーワードや発表シートをつかって、自分の考えを発表できました。発表を聞くときは「自分の考えと比べる」ことで、様々な考え方があることに気付き、式の意味を理解できました。今後も、自分の考えをもって、発表したり、比べたりして学べるような活動を工夫し、指導していきます。